

総選挙で9条生かす政治へ

比例候補先頭に終戦記念日宣伝

76回目の終戦記念日の15日、日本共産党は近畿各地で衆院比例候補を先頭に平和と命を守る決意、政治の転換を訴えました。

■こくた恵二党国対委員長・衆院議員（比例・京都1区）は京都市・四条烏丸交差点での党京都府後援会の宣伝に参加。豪雨災害へのお見舞いを述べた後、①平和を語り継ぐことの大切さ②コロナ禍で政治の在り方を語り合うことの大切さと命を軽視する政治の転換③どのようにして政治を変えるのかを訴え。安倍改憲のたくらみを阻止した力は世論と市民・野党の共闘の力であると強調。「ブレない党、草の根の力を持つ党、日本共産党の躍進がカギだ」として総選挙での支援を訴えました。浜田良之府議、堀信子京都市議も訴えました。（写真上）



こくた氏は滋賀県・草津市でも佐藤こうへい3区候補とともに訴えました。

■清水ただし衆院議員（比例・大阪4区）とこむら潤比例候補（兵庫8区）は、神戸市元町で訴え。こむら候補は「憲法を守ることはコロナから命と暮らしを守り、一人ひとりの尊厳を守ることになる」と強調し、清水氏は神戸市が終戦の年に3度の大規模空襲を受け、当時の五大都市で被害が最悪だったことを紹介。コロナ下で迎えた終戦記念日に不戦と平和の誓いを改めて訴えました。（写真・中）。松田隆彦党兵庫県委員長も訴えました。



■大阪天王寺では、清水衆院議員、西田さえ子比例候補がたつみコータロー前参院議員とともに訴えました。（写真下）



戦争の惨禍、語り継ぐ 京橋空襲犠牲者を追悼・赤紙宣伝



手を合わせた後、京橋駅での城東区母親連絡会の赤紙宣伝に参加しました。（写真）

清水ただし衆院議員、宮本たけし前衆院議員は14日、大阪・京橋駅空襲の第67回被災者慰霊祭に参列しました。京橋空襲は最後の大阪空襲の最後で、大阪城内にあった大阪陸軍造兵廠（そうへいしょう）を襲撃、数個の1トン爆弾が京橋駅を直撃し、列車とホームにいた乗客500～600人が犠牲になりました。

清水、宮本両氏は毎年参加。

21近畿ブロック事務所ニュース

Tel06(6975)9111 Fax06(6975)9115

【府県・地区・地方議員御中・部内資料】

No. 40(2021.8.16)